

2017年(平成29年)4月10日(月曜日)

芽室で「放課後英語」

教育支援協会 26日体験会



チラシを手に参加を呼び掛ける前川さん、渡辺さん(前列左から)と白石さん、榎本さん(後列左から)

【芽室】NPO教育支援協会北海道(本部帯広)は5月、芽室で小学生向け課外活動「放課後イングリッシュ」を開講する。10年前に帯広など管内3会場では始まった「放課後」は、全国各地に広がりを見せている。同NPOでは芽室会場の受講生を募集している。「放課後」は2007年春に帯広、幕別、清水で

スタート。英語を楽しく体験的に学んでもらう活動を通して、「伝える力」「聞く力」などコミュニケーション能力を養うことに重点を置く。管内では現在、帯広、音更、幕別、清水、足寄の14会場が開講している。同NPOの白石友柄さんと榎本尚世さんは、この10年を振り返り「学校教育だけでは賄い切れない社会教育の重要性を感じてもらえるようになってきた」と話す。20年度の小学校での英語教科化に向け、需要も高まっている。

芽室会場は小学生の娘2人を持つ町内の渡辺文子さんの要望がきっかけで開講することになった。渡辺さんは新聞報道などで「放課後」の活動を知った。「子どもの態度の育成などプラスになることがたくさんある。皆さんに来てほしい」と期待する。

芽室会場は月3回、水曜日に町中央公民館で開講。初回は5月17日で、4月26日に体験会を開く。低学年向けの「Fun」が午後3時20分、中高学年向けの「Joy」が午後4時半。定員は各コース20人。参加料は月額2200円。

芽室会場は前川智穂美さん(清水町)が講師を務める。同NPOの榎本さんは「将来的には町内の人に講師を担ってもらいたい」とし「地域講師」を随時募集している。問い合わせは同NPO(0155・33・3033)へ。(澤村真理子)